

「～と考え・・・したよ」を生み出そう

段階

問題場面との出会い

既習との対比
経験の想起

整理

解決の見通し
方法の選択

自分なりの考えをもつ
(解決1)

仲間との考えの交流

よりよい考えへの気づき

考えを見つめる
(解決2)

まとめ

考えの活用と
技能の習熟

本時の学習の振り返り

算数的活動を通して、自分なりの考えをもつ

- ・ 絵や図にかく
- ・ 変わり方を調べる
- ・ 置き換える
- ・ 構成要素に目を付ける
- ・ 式に表す
- ・ 操作する

【ポイント】
「考えをもつ段階」で大切なのは、一人一人の児童が、どう考えて何をやってみたのかを意識できるように指導すること。結果ではなく、過程を大切にすることです。

解決方法を見通す場を位置づけましょう

自分が、どの方法で追究するのかを一人一人に意識させましょう。つまり「判断」させるのです。これが「方法に対する見通し」の判断。「どの方法を使って考えていきますか」と聞き、一斉につぶやかせる。「考えていけそうですか」と聞き、挙手させ実態を捉える手だてを。もちろん、課題化の過程で見通しがもてるようにすることが前提

	数と計算	量と測定	図形	数量関係
絵や図にかく 変わり方を調べる	位の部屋 線分図 数直線 テープ図 リットル図 面積図	リットル図 方眼紙 対角線 等積変形 倍積変形 移動	方眼紙 投影図 展開図 平面図 拡大図 縮図	線分図 表 (1・2次) グラフ (絵、棒、折れ線、円、帯など)
置き換える 構成要素に目を付ける	小数 整数 分数 単位分 数のいくつ分	平行四辺形 長方形 三角形や台形 平行四辺形	辺・角・頂点・ 垂直・平行・ 面・柱体・錘体	
式に表す	公式 関係式 言葉の式	公式に当てはめる 言葉の式		比・百分率・ を使った式 平均 散らばり など
操作する	おはじき ブロック 数え棒 数図	うつす きり取る 移動する 重ねる	写す 重ねる はかり取る 回転させる 作図する	一列にならべる 合成分解 はかる

多様な追究を支えるコーナーの位置づけ

子どもが、どのような方法で追究するかを見抜いたら、そのための場を保障します。ダイナミックさではなく、一人一人に対応できるかどうかの視点から描いてください。また、「子どもが求めて活用する」コーナーになることが大切。「集まりなさい」ではな「いってみたいくなる」工夫が必要

学習プリント・ホワイトボード・B3版紙などの工夫

一人一人の考えがそのまま表出できるようにするための工夫です。理想化してエキスだけを話しても力はつきません。

個の追究に関わる価値付けと援助

机間指導は、一人一人の学習状況をまず見ることが大切